

答 えがあるか、それぞれ伺いたい。
 ①平成二十年度決算で六〇・七％である。②都市計画税は市街化区域の下水道だけでなく道路、公園など都市施設の整備充実に広く活用しているが、公共下水道のような長い年月と多額の費用を要する事業では、地方債や国庫補助金を活用し、世代間にわたる負担の平準化や低減を図っている。③県と連携し、受検率の向上に向け啓発に努めていく。④適正な維持管理の履行を条件に、補助制度を設けることは、水質保全に効果的であると考えているので、前向きに検討していく。

○その他の質問項目
 「中心市街地活性化基本計画について」ほか

本市における環境への取組について(その二)

問

黒澤 三千夫 議員
 ①市内循環ゆうゆうバスへの電気バス導入②公用車への電気自動車導入の取組み③地球温暖化対策地域推進計画の取組みの進捗状況について、それぞれ伺いたい。

答

①実用化には、走行距離の延長や充電時間の短縮化などの更なる技術革新や給電スタンドなどのインフラ整備、車両価格などさまざまな問題があり、国の支援策も含め、官民一体となった取り組みが必要と認識している。

②現在取り組んでいる天然ガス自動車と電気自動車を比較すると、価格差が大きく、電気自動車の方がかなりの財政負担が見込まれることから、現時点では導入する計画はない。③本年度は、計画の初年度であるが、温暖化防止活動では、地球温暖化防止に高い意識を持つ市民や団体が構成する「熊谷市地球温暖化対策地域推進協議会」の設立や「熊谷市地球温暖化防止活動推進員」の制度化等、推進体制の整備を図っていく。

○その他の質問項目
 「環境政策課」

「後期高齢者医療制度について」

市長選のマニフェストについて

問

高橋 初 議員
 ①市長選のマニフェストは何を掲げるのか②合併した周辺部の振興をどのように図るのか③国でも終了

した同和対策事業を本市でも終結することについて、それぞれ伺いたい。

答

①子育て支援、高齢者支援などの福祉施策、地球温暖化対策などの環境政策や産業振興、学校施設の更新都市交通体系の整備、暮らしの安心安全などの課題を解決していく必要がある。これからも、市民に信頼される行政、市民が誇りを持てるまちづくり、市民の笑顔があふれるまち熊谷を目指していく。②周辺部、中心部という考えはなく、それぞれの地域が熊谷市の大切な要素であるという認識の中で、その地域の特性を最大限発揮させることが、熊谷市全体の発展につながるものと考え、さまざまな施策を実施してきた。今後その考えに変わりはしない。

③諸施策の推進により、生活環境等の実態面では、相当程度の成果があったものと認識している。今後とも、同和問題の早期解決を目指して、諸事業に取り組んでいく。
 (政策調査課)

○その他の質問項目

「投票所の増設について」ほか

介護保険事業の熊谷市単独運営について

大山 美智子 議員

問

誰もが安心できる介護制度への改善が求められているが、県内で介護保険事業を広域で行っているのは大里広域市町村圏組合だけである。市単独運営に戻すことについてどのように考えているのか伺いたい。

答

組合運営のメリットは、人件費や事務費の効率化、保険財政の安定化や保険料水準の平準化、広域的なサービス基盤整備などが挙げられ、デメリットは、組合と介護保険事務所との事務調整の増加などが挙げられる。また、仮に単独運営を行った場合のメリットは、他の福祉施策との連携や方針決定の面で迅速化が図られ、デメリットは、職員体制の整備やシステム変更等に伴う費用の増加などが挙げられるが、単独運営に戻すことについては、現段階では、特別な検討は行っていない。
 (長寿いきがい課)

○その他の質問項目

「出張所を兼ねる地域公民館を計画的に建て替えることについて」ほか

農・商・工連携による観光振興について

杉田 茂 実 議員

問

いかなる時も財政安定のための財源確保策が必要である。すそ野の広い観光産業を新しい産業の柱とするために、さまざまな分野から観光資源を創出することが急務と考えるが、①本市における観光の位置付け②本市の観光資源③中長期の具体的な観光振興策は、それぞれ伺いたい。

答

①産業としてみた場合の観光は、飲食、物販、宿泊、交通等、すそ野の広い産業であり、経済効果をはじめ、地域の活性化に大きく寄与することが期待される。このことから本市としてもこれまでの観光行事やイベントを大事にしなが、合併により広がった地域の魅力と特性を生かすなど、これまで当たり前と思われたものの中に、今日的な意義を見出すよう努め、これらを新たな観光資源として、恒常的な観光客が見込めるよう取り組んでいく。②名所旧跡は、熊谷桜堤、妻沼聖天山、平山家住宅などがある。農業関係は、観光農園や農産物直売所があり、商業関係は、熊